

<キーワード> 生活利便施設

効果

- ・バスを待つ人が滞留できるカフェなどがあると、若い人が集まり活気が生まれる。
- ・経済が回る買い物場があると、活気のあるまちになる。

課題

- ・駅前施設の高さの検討にあたり、自然豊かな景観への配慮が必要。

- ・方向性2 (2)
方向性3 (2)
「民間活力の導入」
- ・方向性1 (1)
「豊かなみどりを感じる街並みの形成」

<キーワード> 歩いて楽しいまち

効果

- ・歩いて楽しいまちという真駒内の特徴を活かす。
- ・歩行者動線に配慮した整備をすることで、人の流れができ、にぎわいが生まれる。

課題

- ・冬でも歩きやすい歩道を維持することが必要。
- ・行政機能を駅前に設けると、駅前以外の周遊が減ることが懸念されるため配慮が必要。

- ・方向性3 (3)
「歩行者ネットワークの創出」

<キーワード> 交通結節点としての機能向上

効果

- ・バス待ち環境の改善。
- ・地下鉄とバスターミナル、駐輪場が歩行空間でつながることで利用しやすくなる。
- ・駅前に停車スペースや駐輪場を整備することで、駅利用者が便利になる。

課題

- ・駅前の民間施設との一体的な検討が必要。

- ・方向性3 (4)
「交通結節機能の再編」

<キーワード> 人が集まる場（広場）

効果

- ・駅前に人が滞留できる広場空間や、雨天時にマルシェなどが出来る屋内型の広場があるとにぎわいが生まれる。

課題

- ・持続的な運営を行うため、運営主体や資金調達の方法など運営の仕組みづくりが必要。

- ・方向性1 (2)
方向性2 (3)
「駅前にふさわしい公共空間の充実」

<キーワード> 子供の遊び場

効果

- ・全天候型の遊び場があると、真駒内を知り訪れるきっかけになり、将来的な移住・定住につながる。

課題

- ・多額の事業費がかかるため、コスト面での検討が必要。

- ・方向性2 (1)
「子育てしやすい環境の実現」

<キーワード> 南区の魅力発信の場

効果

- ・南区各地で採れた野菜や果物を販売できる、南区の環境・文化・歴史資源の魅力を発信する場があると良い。
- ・真駒内で情報を得た人が、南区各地へ足を運ぶ人の流れが出来るとよい。

課題

- ・真駒内、南区など全体で連携する仕組みや体制づくりが必要。

- ・方向性1 (2)
方向性2 (3)
「駅前にふさわしい公共空間の充実」

<キーワード> コミュニティ空間

効果

- ・通学で駅を利用する学生が集える場所があると、地域コミュニティが活性化する。
- ・多世代が集まれる施設があると、交流が活発になり結果として町内会の若返りや活性化につながる。

課題

- ・計画段階から使われ方を工夫するなど、施設の魅力を高めることが必要。

- ・方向性1 (2)
方向性2 (3)
「駅前にふさわしい公共空間の充実」

<キーワード> 持続的なまちづくりを支える仕組み

効果

- ・ニーズを把握し、魅力的に変化し続けることができるまちづくり組織があると良い。
- ・駅前だけでにぎわいが生まれるのではなく、にぎわいが広がり、点在するようになるとうい。

課題

- ・まちづくりを担う人材育成、人材発掘が必要。

- ・方向性1 (2)
方向性2 (3)
「駅前にふさわしい公共空間の充実」と共に検討

大きな方向性は合致。個別の意見は今後も随時検討に反映